



# 学薬のひろば



Vol. 013

8月に入っても厳しい残暑が続いています。先生方には夏ばてに十分注意していただきたく思います。

さて、今夏の空気検査（HCHO濃度）はいかがだったでしょうか？7月後半から連日35℃前後の気温（室温）ということもあって昨年より高い数値を示す教室も多かったのではないのでしょうか。私の担当校も昨年基準値以下だった教室で超えるところがみられたため今年は換気方法によって濃度がどう変化するかを調査してみることにしました。が、36℃の室温の中で1日過ごすのはとっても大変でした。結果についてはまた講習会のおりにでもお知らせしたいと考えています。

なお、今月は5日に長崎で「薬剤師のための薬物乱用防止研修会」が予定されています。

## 平成16年度健康・学校環境衛生講習会報告



日時：7月11日（日） 10:00～15:40  
場所：大阪市ホテルアウィーナ大阪 4F「金剛の間」  
主催：日本学校薬剤師会・大阪府学校薬剤師会連合会  
後援：（社）日本薬剤師会・（社）大阪府薬剤師会

「学校環境衛生の基準における定期検査及び日常点検の全面改訂が行われ、今日的課題となっているホルムアルデヒドやVOCの検査、二酸化窒素、ダニアレルゲンの検査等新しい項目が加わり、学校環境衛生管理のなお一層の徹底が必要

となった。また、薬剤師として必要なアンチ・ドーピングの基礎知識を習得することで、禁煙・薬物乱用防止同様に薬剤師が健康教育の一翼を担うことが、期待されている。その期待に対して充分に対応しなければならないと考える。

今回の講習会における4つの講義はそうした意味で非常に有意義なものであり勉強になった。



### 講義1（10:00～11:00）

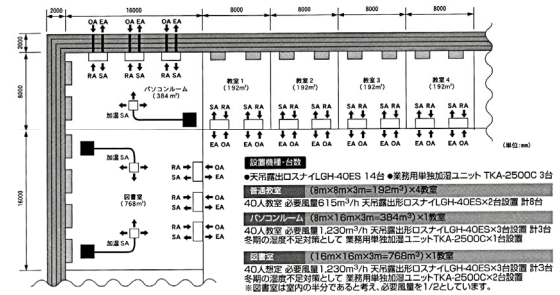
「換気的重要性ーロスナイのメカニズムについて」

三菱電機（株）顧問 吉野 昌孝先生

建築基準法の改正で「常時（24時間）換気が可能な換気設備の義務化」が必要となりロスナイは非常に注目されている。シックスクール問題などを背景とする学校教

室における換気対策としても優れた学習環境を整えられるものとしてその開発者からのお話を聞くことができた。

某中学校ロスナイ設置例



講義2 (11:10~12:10)

「水道法の改正について」

武蔵野大学薬学部教授 安藤 正典先生

水道水質基準改正に関わる概要・検査方法・精度及び信頼性等について詳細にお話を聞くことができた。

昼食休憩 (12:10~13:30) ランチョンセミナー2題

新しい「騒音環境及び等価騒音レベルの測定」について  
 リオン (株)

大塚アカデミー公開スクールセミナー「熱中症の予防について」  
 大塚製薬

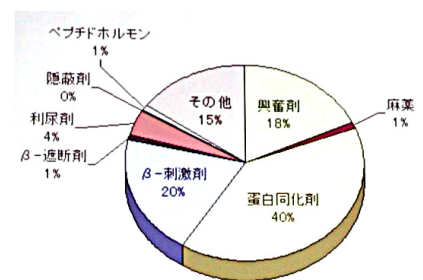
講義3 (13:30~14:30)

「ドーピング - 2004年WADAの基準について」

丸紅健康開発センター 山澤 文裕先生



アンチ・ドーピングの問題は薬剤師にとっても重要な問題です。昨年から国体においても検査が実施されることになったことから比較的身近な問題として勉強していかなければと考えます。今回アテネオリンピックに向けてということでHBOCs等の最新の話をお聞かせいただきました。



講義4 (14:40~15:40)

「学校環境衛生の基準について」

神戸大学発達科学部教授 石川 哲也先生

「基準」の改訂とその根拠ということで具体的な説明をいただきました。

以上簡単ですが報告とさせていただきます。

澤井 恒伸